

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2002183766 A

(43) Date of publication of application: 28.06.02

(51) Int. Cl. G07B 1/00
 G06F 3/02
 G06F 3/023
 H03M 11/04
 G06F 3/033
 G07B 5/00
 // G06F 3/00

(21) Application number: 2000379314

(22) Date of filing: 13.12.00

(71) Applicant: HITACHI LTD

(72) Inventor: IZAWA SEIKI
 TSUKADA ARIHITO

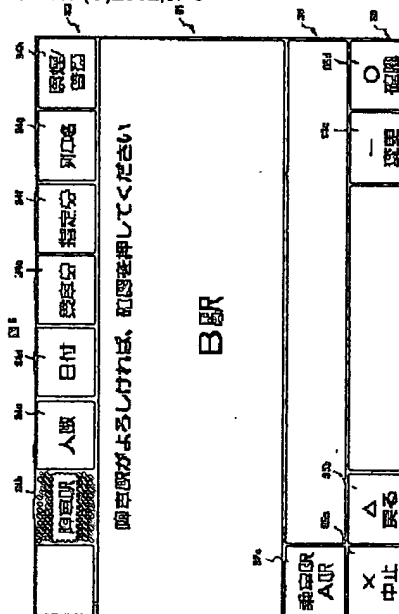
(54) MANAGEMENT METHOD AND DEVICE FOR TICKET ISSUE

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

(57) Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To simplify the operation for issuing a ticket.

SOLUTION: An undecided area 32 for displaying an input item column 34 such as 'boarding station' 34b or the like, a decided area 36 for displaying a decided item column 37, and an operation area 31 for performing the set of information input in the input item column 34 are provided on a display screen of a ticket issuing terminal. When the information input to the 'leaving station' input item column 34b is performed, one (station B) of candidate information corresponding thereto is displayed. When a change button 35c is then touched, the display is changed to the other candidate information so that desired information can be searched. When the displayed candidate information is a desired one, a confirmation button 35d is touched, whereby this is set to the 'leaving station' input item column 34b. The 'leaving station' input item column 34b is further moved to the decided area 36, and stored in the decided area 36 as a decided item column.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-183766

(P2002-183766A)

(43)公開日 平成14年6月28日(2002.6.28)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	チーコード*(参考)
G 0 7 B 1/00		G 0 7 B 1/00	A 3 E 0 2 6
			C 5 B 0 2 0
G 0 6 F 3/02	3 6 0	G 0 6 F 3/02	3 6 0 C 5 B 0 8 7
3/023		3/033	3 6 0 C 5 E 5 0 1
H 0 3 M 11/04		G 0 7 B 5/00	D
審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 24 頁) 最終頁に続く			

(21)出願番号 特願2000-379314(P2000-379314)

(22)出願日 平成12年12月13日(2000.12.13)

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72)発明者 井澤 清貴

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地

株式会社日立製作所デザイン研究所内

(72)発明者 塚田 有人

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地

株式会社日立製作所デザイン研究所内

(74)代理人 100093492

弁理士 鈴木 市郎 (外1名)

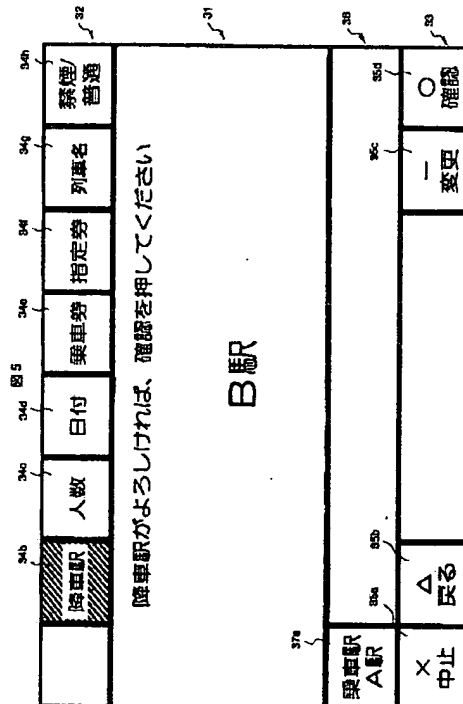
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 発券管理方法及び装置

(57)【要約】

【課題】 チケットの発券のための操作を簡略化できるようにする。

【解決手段】 発券端末の表示画面には、「乗車駅」34bなどの入力項目欄34が表示される未確定エリア32と、確定項目欄37が表示される確定エリア36と、入力項目欄34での情報入力の設定を行なうための操作エリア31とが設けられており、いま、「降車駅」入力項目欄34bの情報入力を行なうものとする、これに対する候補情報の1つ(「B」駅)が表示される。ここで、変更ボタン35cをタッチすると、他の候補情報に表示が換わり、所望の情報を探索できるが、表示される候補情報が希望するものであるとき、確認ボタン35dをタッチすることにより、これが「降車」入力項目欄34bに設定され、さらに、この「降車」入力項目欄34bが確定エリア36に移動し、確定項目欄として、この確定エリア36に格納される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信部と制御部と発券用情報を格納したデータベースを用い、該制御部の制御のもとに、該通信部を介してネットワーク接続される発券端末装置に該発券用情報を送って、該発券端末装置での発券のための手順を管理する方法において、

該通信部から該発券用情報を送ることにより、該発券端末装置の表示画面に、複数の情報入力項目欄を含む未確定エリアと複数の確定項目欄のための確定エリアとを表示させ、

該未確定エリアに含まれる該情報入力項目欄に順次ユーザが希望する情報を設定し、

該情報が設定された該情報入力項目欄を該未確定エリアから該確定エリアへ移動させて、該確定項目欄として該確定エリアに格納表示させることを特徴とする発券管理方法。

【請求項2】 請求項1において、前記表示画面での前記未確定エリアと前記確定エリアとの間に操作エリアを設け、

該操作エリアに、前記未確定エリアでの前記情報入力項目欄に設定する候補の情報を表示させることを特徴とする発券管理方法。

【請求項3】 請求項2において、前記操作エリアに変更ボタンを表示させ、該変更ボタンが操作されると、前記操作エリアに表示する前記候補の情報を変更させることを特徴とする発券管理方法。

【請求項4】 請求項1、2または3において、前記未確定エリアと前記確定エリアとのいずれか一方を前記表示画面の上辺側に、他方を下辺側に夫々配置させたことを特徴とする発券管理方法。

【請求項5】 通信部と制御部と発券用情報を格納したデータベースを備え、該制御部の制御のもとに、該通信部を介してネットワーク接続される発券端末装置に該発券用情報を送って、該発券端末装置での発券のための手順を管理する発券管理装置であって、該通信部から該発券用情報を送ることにより、該発券端末装置の表示画面に、複数の情報入力項目欄を含む未確定エリアと複数の確定項目欄のための確定エリアとを表示させ、該未確定エリアに含まれる該情報入力項目欄に順次ユーザが希望する情報を設定し、該情報が設定された該情報入力項目欄を該未確定エリアから該確定エリアへ移動させて、該確定項目欄として該確定エリアに格納表示させる手段を有することを特徴とする発券管理装置。

【請求項6】 請求項5において、前記手段は、前記表示画面での前記未確定エリアと前記確定エリアとの間に操作エリアを設定し、該操作エリアに、前記未確定エリアでの前記情報入力項目欄に設定する候補の情報を表示させることを特徴とする発券管理装置。

【請求項7】 請求項6において、

前記手段は、前記操作エリアに変更ボタンを表示させ、ユーザによって該変更ボタンが操作されると、前記操作エリアに表示する前記候補の情報を変更させることを特徴とする発券管理装置。

【請求項8】 請求項5、6または7において、

前記手段は、前記表示画面上で、前記未確定エリアと前記確定エリアとのいずれか一方を前記表示画面の上辺側に、他方を下辺側に夫々配置させることを特徴とする発券管理装置。

【請求項9】 通信部と制御部と発券用情報を格納したデータベースを用い、該制御部の制御のもとに、該通信部を介してネットワーク接続される発券端末装置に該発券用情報を送って、該発券端末装置での発券のための手順を管理する発券管理装置であって、

該通信部から該発券用情報を送ることにより、該発券端末装置の表示画面に、移動可能な項目設定部と、該項目設定部の周りに複数の情報入力項目欄とを表示させ、該項目設定部を該情報入力項目欄1つずつ所定の順序で接触させることにより、該項目設定部が接触した該情報入力項目欄にユーザが希望する情報を設定する手段を有することを特徴とする発券管理方法。

【請求項10】 通信部と制御部と発券用情報を格納したデータベースを用い、該制御部の制御のもとに、該通信部を介してネットワーク接続される発券端末装置に該発券用情報を送って、該発券端末装置での発券のための手順を管理する方法において、該通信部から該発券用情報を送ることにより、該発券端末装置の表示画面に、移動可能な項目設定部と、該項目設定部の周りに複数の情報入力項目欄とを表示させ、該項目設定部を該情報入力項目欄1つずつ所定の順序で接触させることにより、該項目設定部が接触した該情報入力項目欄にユーザが希望する情報を設定することを特徴とする発券管理方法。

【請求項11】 通信部と制御部と発券用情報を格納したデータベースを用い、該制御部の制御のもとに、該通信部を介してネットワーク接続される発券端末装置に該発券用情報を送って、該発券端末装置での発券のための手順を管理する方法において、該通信部から該発券用情報を送ることにより、該発券端末装置の表示画面に、位置が固定した項目設定部と、該項目設定部の周りに複数の情報入力項目欄からなる項目欄列を表示させ、

予め決められた所定の位置にある該情報入力項目欄に対して、該項目設定部に表示されるユーザ希望の情報を入力設定し、

該情報入力項目欄で情報の入力設定が行なわれると、該項目欄列が該項目設定部の周りを移動させて次の情報入力項目欄を、情報の入力設定をすべく該所定の位置に設定することを特徴とする発券管理方法。

【請求項12】 通信部と制御部と発券用情報を格納したデータベースを用い、該制御部の制御のもとに、該通信部を介してネットワーク接続される発券端末装置に該発券用情報を送って、該発券端末装置での発券のための手順を管理する発券管理装置であって、該通信部から該発券用情報を送ることにより、該発券端末装置の表示画面に、位置が固定した項目設定部と、該項目設定部の周りに複数の情報入力項目欄からなる項目欄列を表示させ、予め決められた所定の位置にある該情報入力項目欄に対して、該項目設定部に表示されるユーザ希望の情報を入力設定し、該情報入力項目欄で情報の入力設定が行なわれると、該項目欄列が該項目設定部の周りを移動させて次の情報入力項目欄を、情報の入力設定をすべく該所定の位置に設定する手段を有することを特徴とする発券管理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、交通機関のチケットなどの発券処理を管理する方法及び装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、列車の乗車券や指定券、特急券などを発行するための座席予約端末装置が種々提案されているが、予約に必要な情報を画面上に表示し、この表示情報に基づいて予約処理を行なうようにする予約端末装置が知られている。その一例として、特開平5-120316号公報に記載の予約端末装置は、表示画面に駅名をグループに分類して表示し、表示される駅名を選択して券の発行（発券）を行なうものであるが、各グループの先頭の駅名を大きな文字で表示し、グループ分けが明確になるようにして駅名を選択を容易になるようにしている。また、他の例として、特開平7-21291号公報に記載の予約端末装置は、乗車駅名、降車駅名、乗換えが必要な場合には、経由駅名、列車名、必要に応じて列車番号を入力することにより、指定券などを発券できるようにしたものであって、乗り継ぎがある場合には、少なくとも乗り継ぎの列車名を入力することにより、この乗り継ぎの列車や乗り継ぎ時間などの情報を指定券に表示できるようにしたものであって、かかる入力情報や処理結果を表示部で表示し、その内容を確認することができるようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、かかる従来の端末装置では、予約、発券の操作を容易にできるようにしようとするものであるものの、上記前者の公知例では、表示される情報内容を他の情報と容易に区別できるようにしたものに過ぎず、また、上記後者の公知例は、乗り継ぎという特別の予約ケースの場合でも、その予約を容易にできるようにしているものの、例えば、指定券の予約、発券する場合、そのための入力項目が多岐にわたるものであって、夫々の入力項目に対して所定の情報

を入力するには、ある程度の知識と予約端末装置の操作の熟練とを要するし、また、入力項目の入力情報を確認する手間も容易なものではなかった。

【0004】本発明の目的は、かかる問題を解消し、発券のための操作作業を簡略化し、かつ入力情報の確認や入力操作の手間を低減できるようにした発券管理方法及び装置を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明は、通信部と制御部と発券用情報を格納したデータベースなどを用い、該制御部の制御のもとに、該通信部を介してネットワーク接続される発券端末装置に該発券用情報を送って、該発券端末装置での発券のための手順を管理するものであって、該発券端末装置の表示画面に、複数の情報入力項目欄を含む未確定エリアと複数の確定項目欄のための確定エリアとを表示させ、該未確定エリアに含まれる該情報入力項目欄に順次ユーザが希望する情報を設定し、該情報が設定された該情報入力項目欄を該未確定エリアから該確定エリアへ移動させて、該確定項目欄として該確定エリアに格納表示させるものである。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態を図面を用いて説明する。図1は本発明による発券管理方法及び装置の一実施形態を示すブロック図であって、1は駅専用の発券端末装置、2は空港専用の発券端末、3は旅行代理店専用の発券端末装置、4、5は自動販売機としての発券端末装置、6は個人のPC（パソコン）、7はプッシュホン電話、8～12はルータ、13はインターネット、14は専用回線、15はWebサーバ、16はホストコンピュータである。

【0007】同図において、発券端末装置1は各駅の窓口などに設置されて駅員が使用するエキスパート専用の端末装置、発券端末装置2は空港の窓口などに設置されて駅員が使用するエキスパート専用の端末装置、発券端末装置3は各旅行代理店などに配置されてその係員が使用するエキスパート専用の端末装置であって、表示画面やキーボード、マウスなどを備え、ルータ8を介してホストコンピュータ16に接続されている。このホストコンピュータ16はCPUなどからなる制御部や通信部などからなり、また、エキスパート専用の発券用情報や顧客が使用できる発券用情報、予約用情報が格納されたデータベースを有し、制御部の制御のもとに、通信部により、発券端末1～5や個人PC6、プッシュホン電話7との間で情報のやり取りしてチケット発券の管理を行なうものである。

【0008】このデータベースに格納されているエキスパート専用の発券用情報は、発券端末装置1～3の適宜の操作（例えば、電源投入など）により、これら発券端末装置1～3に読み取られ、顧客の要求に応じて駅員が

発券端末装置1を操作することにより、あるいはまた、顧客の要求に応じて空港の職員や旅行代理店の係員が発券端末装置2、3を操作することにより、かかる発券情報が使用されて顧客が希望する指定券や航空券、レンタカー、旅館などのチケットが発券される。

【0009】発券端末装置4、5は駅構内や空港内、コンビニエンスストアといった店舗などに設置される自動販売機形式のものであって、表示画面と簡単なキーボード、マウスなどを備えて顧客自身が指定券などの発券のために使用できるようにしている。かかる発券端末装置4、5はルータ9を介して専用回線14に接続され、この専用線14にルータ11を介してホストコンピュータ16とWebサーバ15とが接続されている。これにより、発券端末装置4、5からは、ホストコンピュータ16に格納されている個人用の発券用情報を用いて、上記のエキスパート専用の発券端末装置1〜3と同様の発券操作を行なうことができる。

【0010】以上の発券端末装置1〜5は、いずれも、チケットを発券するためのチケット印刷手段やそれを外部に排出して操作者に引き渡すためのチケット出力手段とを備えている。

【0011】一方、このシステムでは、個人PC6やプッシュホン電話7により、チケットの予約などもできるようにしている。個人PC6は、ルータ12、インターネット13及びルータ10を介して専用回線14に接続することにより、ホストコンピュータ16と接続することができる。このようにホストコンピュータ16と接続された状態では、個人PC6からの情報がWebサーバ15でホストコンピュータ16のデータベースでの個人用の発券用情報をアクセスすることができるようになり、個人PC6がホストコンピュータ16から個人用の発券用情報を取り込むことができる。個人PC6では、この発券用情報を用いて、後述するエキスパート用の発券端末装置1〜5と同様な操作により、旅行プランなどを作成することができるし、また、この作成された旅行プランなどに基づいたチケットの予約を行なうことができる。予約の方法として、予約先(チケットの受取先)や予約方法についての情報もホストコンピュータ16から取り込むことができ、これにより、この個人PC6の操作者が指定した受取先で予約作業が行なわれてこの操作者にチケットを引き渡すことができる。

【0012】また、プッシュホン電話7からは、プッシュボタン操作によるチケットの予約ができるものであり、顧客がパスワードや所定の予約情報をプッシュボタン操作により、チケットの予約ができるものである。

【0013】なお、発券端末装置4、5や個人PC6では、かかる個人用の発券用情報により、顧客が、専門知識を必要とせずに、発券のための操作をすることができるようになっているが、また、これらを、例えば、駅員などのエキスパートが利用する際に、特定のパスワードを

入力することにより、ホストコンピュータ16のデータベースからエキスパート用の発券用情報を読み取り、エキスパート専用の発券端末装置1〜3と同様の操作でもって発券を行なうことができるようにもしている。これにより、必要に応じて、駅員や空港の職員、旅行代理店の係員がその構内に設けられた発券端末装置4、5を用いて所望チケットの発券ができるようにするとともに、一般の顧客がホストコンピュータ16のデータベースに格納されているエキスパート用の発券用情報をアクセスできないようにしている。

【0014】以下、発券端末装置1〜5について説明するが、図2はその一例を示す外観斜視図である。

【0015】同図において、かかる発券端末装置1〜5の筐体20の操作する側の傾斜面には、タッチパネルを備えた表示画面21が設けられ、また、この表示画面20の下方に垂直な面に、カード挿入口22や紙幣挿入口23、釣り銭排出口24、チケット排出口25などが設けられ、また、これらが設けられた脇にコイン挿入口26が設けられている。

【0016】この発券端末装置1〜5は、電源が投入されると、表示画面21に初期画面が表示され、この初期画面の所定の場所あるいは任意の場所にタッチすることにより、これに応じてチケットの発券のための情報(発券用情報)をホストコンピュータ16(図1)に要求する。ホストコンピュータ16はこの要求に応じた発券情報をデータベースから取り出し、発券端末装置1〜5に送る。これにより、発券端末装置1〜5では、この発券用情報に基づく画面が表示画面21に表示され、この画面上でタッチ操作することにより、所望とするチケットの発券のための情報設定を行なうことができる。

【0017】ここで、発券端末装置1〜5では、その電源が投入される毎に、発券のためのプログラムがホストコンピュータ16からダウンロードされるようにしてもよいが、ホストコンピュータがかかるプログラムを使用するようにしてもよい。この場合には、発券端末装置1〜5での駅員などのエキスパートや顧客が表示画面21をタッチ操作する毎に、この操作に応じた指令がホストコンピュータ16に送られ、プログラムによってこの指令に応じた動作が行なわれて所望情報を発券端末装置1〜5に送る。特に、駅構内や店舗に設置される発券端末装置4、5は、チケットの自動販売機として、電源投入とともに即座に使用できる状態になることが必要であり(プログラムをダウンロードするには、長い時間がかかる)、このために、このプログラムをホストコンピュータ16に備えた方式がとられる方が好ましい。

【0018】次に、この実施形態の動作を、図2における表示画面21に表示される画面を用いて説明する。

【0019】列車のチケットを購入する場合、表示画面20には、図示しない初期画面の後、図3に示す路線選択画面28が表示される。この路線選択画面28には、

複数の路線、図示では、A路線、B路線、C路線、……の表示が、それを選択するための選択ボタン27とともに、設けられているが、1つおきの路線、A、C、E、……路線の表示と他の1つおきの路線、B、D、F、……路線の表示とが、ほぼ垂直な中央線（図示せず）に関して互いに反対側に、しかも、選択ボタン27とは反対側となるように、設けられている。勿論、各路線の表示方法としては、これに限るものではないが、各路線の表示が区別し易いようになされているかかる路線選択画面28において、所望とする路線の選択ボタン27をタッチ操作すると、使用する鉄道の路線が決まり、この条件のもとに、この路線を使用するチケットの発券のための図4に示すような項目設定画面30が表示される。この項目設定画面30は、この表示画面20の上辺側の未確定エリア32と、その下辺側の機能エリア33と、これら未確定エリア32と機能エリア33との間の操作エリア31とから構成されている。

【0020】未確定エリア32は未確認の情報入力項目欄34が表示され、ここでは、列車のチケットを購入する場合として、図示するように、「乗車駅」入力項目欄34a、「降車駅」入力項目欄34b、「人数」入力項目欄34c、「日付」入力項目欄34d、「乗車券」入力項目欄34e、「指定券」入力項目欄34f、「列車名」入力項目欄34g、「禁煙／普通」入力項目欄34hの8個の情報入力項目が使用されるものとする。このように未確定エリア32で表示される情報入力項目34は、それらの情報内容（例えば、「乗車駅」入力項目欄34aの場合、乗車駅）が具体的に決められていない状態にある。

【0021】機能エリア33には、タッチ操作ボタンとして機能ボタン35が表示されており、ここでは、図示するように、チケットの購入を中止させるための「中止」ボタン35a、前の操作に戻るための「戻る」ボタン35b、情報入力項目34に入力設定する情報を変更するための「変更」ボタン35c、所定の情報入力項目欄34に入力設定した情報を確定するための「確認」ボタン35dとが設けられている。

【0022】操作エリア31は、未確定エリア32での情報入力項目欄34に所望の情報を入力設定するためのものである。

【0023】情報入力項目欄34は、その左側から配列順に情報が入力される。項目設定画面30が表示開始されたときには、まず、「乗車駅」入力項目欄34aが、例えば、その欄全体や項目名「乗車駅」などが点滅表示、あるいは高輝度表示されるなどして、情報の入力設定の順番になったことを操作者（ユーザ）に知らせる。これとともに、操作エリア31には、この「乗車駅」入力項目欄34aに入力設定する情報の一例、この場合、「A駅」という情報が初期情報として表示され、また、「乗車駅がよろしければ、確認を押してください」とい

う案内も表示される。なお、このA駅は図3で選択した路線にあることはいうまでもない。

【0024】そこで、ユーザは、他の駅を乗車駅としたければ、機能エリア33の「変更」ボタン35cをタッチ操作することにより、操作エリア31に表示される駅名を他の駅名に変更することができる（ここでは、「変更」ボタン35cを押す毎に、表示される駅名が変更されるものとするが、「変更」ボタン35cを押している間順次変更されるようにしてもよい）。

【0025】操作エリア31に表示されている駅名が希望する乗車駅名のときには、案内の通りに機能エリア33での「確認」ボタン35dをタッチ操作することにより、「乗車駅」入力項目欄34aで情報の入力設定される。しかし、このような入力設定がなされると、図5に示すように、まず、操作エリア31と機能エリア33との間に確定エリア36が形成され、図4で情報の入力設定された「乗車駅」入力項目欄34aが、入力設定された「A駅」を含む「乗車駅」確認項目欄37aとして、この確定エリア36内に移ることになる。これとともに、未確定エリア32での次の「降車駅」入力項目欄34bが点滅もしくは高輝度表示され、これに入力設定する情報の一例、図示では、「B駅」が操作エリア31に初期情報として表示されて同様に案内される。このB駅も、図3で選択した路線での駅であることはいうまでもない。

【0026】図5において、いま、機能エリア33の「変更」ボタン35cをタッチ操作すると、図6に示すように、操作エリア31（図5）の代わりに、情報選択画面38が表示され、これに降車駅の例（図3で選択した路線でのA駅、B駅、C駅、……）が表示されて所望とする駅名を選択することができるようにする。そこで、ユーザが「M駅」をタッチ操作し、さらに、「確認」ボタン35dをタッチ操作すると、「降車駅」入力項目欄34bが情報入力設定されたことになり、図7に示すように、入力設定された「M駅」を含む「降車駅」確認項目欄37bとして、この確定エリア36内に移ることになる。これとともに、未確定エリア32での次の「人数」入力項目欄34cが点滅もしくは高輝度表示され、これに入力設定する情報の一例、図示では、「大人1人」が操作エリア31に初期情報として表示されて同様に案内される。

【0027】この「人数」入力項目欄34cについても、同様にして、情報の入力設定が行なわれると、図8に示すように、入力設定された「大人1名」を含む「人数」確認項目欄37cが確定エリア36内に設定される。以下同様にして、図8において、次の「日付」入力項目欄34dで初期情報「本日（10/12）」が入力設定されると、図9に示すように、入力設定された「本日」を含む「日付」確認項目欄37dが確定エリア36内に設定され、図9において、次の「乗車券」入力項目

欄34eで初期情報「乗車券を購入する」が入力設定されると、図10に示すように、入力設定された「購入」を含む「乗車券」確認項目欄37eが確定エリア36内に設定される。なお、乗車券が不要な場合には、機能エリア33での「変更」ボタン35cをタッチ操作すればよい。図10において、次の「指定券」入力項目欄34eで初期情報「指定券を購入する」が入力設定されると、図11に示すように、入力設定された「購入」を含む「指定券」確認項目欄37fが確定エリア36内に設定される。この指定券の場合も、不要な場合には、機能エリア33での「変更」ボタン35cをタッチ操作すればよい。

【0028】図11において、次の「列車」入力項目欄34gの場合には、操作エリア31に、いますぐ乗車する列車を決める場合には、「確認」ボタン35dをタッチ操作し、時刻を指定して乗車する場合には、「変更」ボタン35cをタッチ操作するようになると案内が表示され、「確認」ボタン35dをタッチ操作したとすると、図12に示すように、操作エリア31の代わりに、列車選択画面39が表示される。この列車選択画面39では、複数の列車名と、各列車毎の上記設定された乗車駅での発車時刻、降車駅での到着時刻と、各列車毎で普通車の禁煙／喫煙席、グリーン車の禁煙／喫煙席夫々毎の乗車状況とが表示され、それらのいずれかを選択できるようにしている（なお、乗車状況での○印は空き席があり、×印は満席とし、○印だけが選択できるものとする）。他の列車を探す場合には、「変更」ボタン35cをタッチ操作すればよい。このようにして、所定の列車（例えば、A列車）を選択して「確認」ボタン35dをタッチ操作すると、「列車」入力項目欄34gに対して情報の入力設定操作がなされたことになり、図13に示すように、入力設定された「A列車」を含む「列車」確認項目欄37gが確定エリア36内に設定される。

【0029】また、図11に示す表示状態で「変更」ボタン35cをタッチ操作すると、A駅での発車時刻からみた列車のリストが、図12と同様に形式で表示され、「変更」ボタン35cをタッチ操作する毎に異なる発車時刻の列車を表示させることができる。これにより、指定した時刻の列車を選択することができる。

【0030】最後に、図13において、「普通／禁煙」入力項目欄34hについて、操作エリア31では、設定されたA列車について、初期情報として、普通車の禁煙席でよいか否かを問い合わせる。普通車の禁煙席、あるいはグリーン車の禁煙席または喫煙席を希望する場合には、「変更」ボタン35cをタッチ操作して操作エリアでの表示を変更させればよいが、図13の図示する表示状態で「確認」ボタン35dをタッチ操作すると、「普通／禁煙」入力項目欄34hに対して情報の入力設定操作がなされたことになり、図14に示すように、入力設定された「普通／禁煙」を含む「普通／禁煙」確認

項目欄37hが確定エリア36内に設定される。

【0031】図14は全ての情報入力項目欄34で情報の入力設定がなされた状態を示すものであって、この場合には、未確定エリア32には情報入力項目欄34が1つもなく、未確定エリア32にあった全ての情報入力項目欄34が、確認項目欄37として、確定エリア36に移ったことになる。これにより、確定エリア36で予約の内容を確認することができる。この状態では、操作エリア31には、例えば、「列車を予約します」という案内が表示される。かかる状態で「確認」ボタン35dをタッチ操作すると、確定エリア36で表わされる内容でチケットの予約処理が行なわれる。

【0032】なお、図14に示す状態で「戻る」ボタン35bをタッチ操作すると、図13に示す状態に戻って「普通／禁煙」入力項目欄34hが情報入力設定されない状態となり、さらに「戻る」ボタン35bをタッチ操作すると、図12に示す状態に戻って「列車」入力項目欄34gが情報入力設定されない状態というように、「戻る」ボタン35bをタッチ操作する毎に1つずつ前の状態に戻る。従って、このように状態を戻すことにより、「変更」ボタン35cをタッチ操作して、そのとき情報の入力設定の対象となる情報入力欄34の設定内容を変更することができる。このことは、図14に示す状態になる前の上記任意の状態であっても、同様である。なお、図4に示す状態で「戻る」ボタン35bをタッチ操作すると、図3に示した路線選択画面28の表示状態となる。

【0033】また、図4～図14のいずれの状態にあっても、「中止」ボタン35aをタッチ操作すると、チケットの発券のための処理動作が中止し、もとの初期画面に戻る。

【0034】ここで、図2に示す装置が店舗や駅構内などに設置された自動販売機型の発券端末装置4、5（図1）である場合には、図14に示す表示状態で「確認」ボタン35dをタッチ操作すると、図15に示すように、発券されるチケットの料金の支払い方法をユーザに知らせる案内画面40が表示される。この案内画面15では、購入金額とともに、現金やカードで支払う場合の方法が画像で表示される。ここでは、現金で支払う場合には、紙幣挿入口23や硬貨挿入口26（図2）を用いること、カードで支払う場合には、カード挿入口22（図2）を使用することが夫々案内される。

【0035】ユーザがこの案内に従って料金の支払いを行なうと、筐体20（図2）に内蔵のチケット印刷装置（図示せず）でチケットが印刷され、チケット排出口25（図2）から排出されてチケットの発券が行なわれるが、このとき、表示画面21では、図16に示すように、チケットがチケット排出口25から排出されたことが画像で知らせ、また、釣り銭があるときには、その金額とともに、釣り銭が釣り銭排出口24から排出された

ことを画像で知らせる案内画面41が表示される。

【0036】以上のように、この実施形態では、チケット発券のための情報の入力設定のための情報入力項目欄が表示画面上の同じエリアにまとめられて、かつ入力設定順に表示され、その順に情報の入力設定がなされると、情報の入力設定された情報入力項目欄は、確認項目欄として、入力された情報とともに、この表示画面上の別のエリアにまとめて、かつその入力設定順に表示されるものであるから、情報の入力が未設定の情報入力項目欄と情報の入力設定された確認項目欄と区別、従って、チケット発券に必要ななどの項目が設定されて、どの項目がまだ設定されていないか簡単かつ明確に判別することが可能となり、操作に間違いが生ずることがなくなる。

【0037】しかも、未確定エリア32と確定エリア36との間の操作エリアでは、これから情報の入力設定を行なう情報入力欄34に入力設定する情報が1つだけが表示されるものであるから、ユーザとしては、その表示情報が希望のものであるか否かを判別し、希望のものであれば、単に所定の操作ボタン、即ち、確認ボタン35dをタッチ操作するだけでよいし、情報の選択ということを省くこともでき、また、希望のものでなければ、変更ボタン35cを操作することにより、1つ1つ表示情報を変更できて、情報の選択を間違いなく行なうことができるようになり、操作が非常にやり易いものとなる。

【0038】なお、以上の実施形態では、未確定エリア32を表示画面21の上辺側に、確定エリア36を表示画面21の下辺側に夫々設け、情報入力設定した項目欄が表示画面21の上辺側から下辺側に移動するようにしたが、逆に、未確定エリア32を表示画面21の下辺側に、確定エリア36を表示画面21の上辺側に夫々設け、情報入力設定した項目欄が表示画面21の下辺側から上辺側に移動するようにしてもよいし、また、未確定エリア32と確定エリア36とのいずれか一方を表示画面21の右辺側に、他方を左辺側に夫々設けるようにしてもよい。

【0039】次に、図17～図19により、項目設定画面の他の具体例について説明する。

【0040】図2に示した路線選択画面28で希望する路線が選択されると、表示画面21に図17に示す項目設定画面50が表示される。この項目設定画面50は、大きな丸枠で表わされる項目設定部52と、この設定エリア52の周りに配置されて丸枠で表わされる情報入力項目欄51とからなっている。ここで、これら情報入力項目欄51は、先の具体例と同様、「乗車駅」入力項目欄51a、「降車駅」入力項目欄51b、「人数」入力項目欄51c、「日付」入力項目欄51d、「乗車券」入力項目欄51e、「指定券」入力項目欄51f、「列車」入力項目欄51g、「禁煙／普通」入力項目欄51hからなるものとする。

【0041】この項目設定画面50が表示開始されたと

きには、この項目設定部52が、例えば、点滅表示されており、また、この項目設定部52内に、例えば、「スタート」という表示がなされている。この項目設定部52は、これにタッチすることにより、各情報入力項目欄51への情報入力設定を行なうものであり、かかる初期状態では、さらに、項目設定部52内に「タッチしてください」といったようなメッセージを表示しておくことにより、ユーザによってさらに判り易いものとなる。情報入力設定されていない情報入力項目欄51（この場合、全ての情報入力項目欄51）は、例えば、薄く（低輝度で）表示されている。

【0042】そこで、項目設定部52にタッチすると、この項目設定部52が移動して、図18に示すように、「乗車駅」入力項目欄51aと接触し、この「乗車駅」入力項目欄51aが点滅表示されて情報の入力操作がなされる状態にあることが明示され、これとともに、この入力項目欄51a内に入力設定できる初期情報（ここでは、先の具体例と同様、A駅とする）が、「乗車駅はA駅でよろしいですか？」というような形式で表示され、また、「変更」ボタン53aと「確認」ボタン53bも表示される。そこで、他の駅を希望する場合には、「変更」ボタン53aをタッチ操作すればよく、先の具体例での「変更」ボタン53cと同様に、駅名を変更させることができる。

【0043】図18に示す表示状態で「確認」ボタン53bをタッチ操作すると、「乗車駅」入力項目欄51aでA駅の入力設定が行なわれ、これとともに、項目設定部52が移動して、図19に示すように、次の「降車駅」入力項目欄51bに接触し、この「降車駅」入力項目欄51bが点滅表示されて情報の入力操作がなされる状態にあることが明示され、この「降車駅」入力項目欄51bに対する初期情報が表示されるようになる。また、入力設定された「乗車駅」入力項目欄51aでは、設定された情報「A駅」が表示されるとともに、全体が、例えば、高輝度表示されて情報入力設定後の情報入力項目欄（これは、先の具体例での確認項目欄37に相当する）であることが明示される。

【0044】そこで、項目設定部52内の「変更」ボタン53aをタッチ操作すると、駅名が変更させ、「確認」ボタン53bをタッチ操作すると、「降車駅」入力項目欄51bでB駅の入力設定が行なわれ、これとともに、項目設定部52が次の「人数」入力項目欄51cに移動する。これ以降、同様に、「日付」入力項目欄51d、「乗車券」入力項目欄51e、「指定券」入力項目欄51f、「列車」入力項目欄51g、「禁煙／普通」入力項目欄51hの順で情報入力設定が行なわれる。

【0045】なお、「乗車駅」入力項目欄51aや「降車駅」入力項目欄51b、「列車」入力項目欄51gについて情報の入力設定の際、「変更」ボタン53aをタ

タッチ操作した場合には、先の具体例についての図6や図12に示したような情報の選択画面が表示されるが、かかる選択画面は項目設定画面50に代えて表示画面21全体またはその一部に表示され、先の具体例のように希望する情報が選択されると、もとに項目設定画面50の表示状態に戻るようにする。

【0046】このようにして、この具体例でも、情報入力項目欄51に対して順に情報の入力設定がなされるが、情報の入力設定する情報入力項目欄51を選択するための操作を必要とせずに自動的に選択されていくことになり、ユーザとしては、「変更」ボタン53aか「確認」ボタン53bかを操作するだけで済み、操作が非常に簡単になるとともに、情報入力項目欄51を表示画面21全体にわたって配置し、かつ項目設定部52が情報の入力設定する入力項目欄51に接触するものであるから、情報の入力設定する入力項目欄51を見誤ることもなく、正確な情報の入力設定を行なうことができる。

【0047】次に、図20～図22により、項目設定画面のさらに他の具体例について説明する。なお、図17～図19に対応する部分には同一符号をつけている。この具体例は、図17～図19に示した先の具体例と基本的には同様のものであるが、この先の具体例では情報入力項目欄51が位置固定され、項目設定部52が移動したのに対し、この図20～図22で示す具体例では、情報入力項目欄51が項目設定部52の周りを観覧車のように移動するようにしたものである。

【0048】図2に示した路線選択画面28で希望する路線が選択されると、表示画面21に図20に示す項目設定画面52が表示される。この項目設定画面52は、項目設定部52とその周りに等間隔に配列された情報入力項目欄51とからなっている。各情報入力項目欄51は項目設定画面52と直線55で接続されている。ここでも、これら情報入力項目欄51は、先の実施形態と同様、「乗車駅」入力項目欄51a、「降車駅」入力項目欄51b、「人数」入力項目欄51c、「日付」入力項目欄51d、「乗車券」入力項目欄51e、「指定券」入力項目欄51f、「列車」入力項目欄51g、「禁煙／普通」入力項目欄51hからなるものとし、情報入力設定されていない情報入力項目欄51（この場合、全ての情報入力項目欄51）は、例えば、薄く（低輝度で）表示されているものとする。

【0049】この項目設定画面52が表示開始されたときには、この項目設定部52が、例えば、点滅表示されており、また、この項目設定部52内に、例えば、「スタート」というメッセージ、あるいは、さらに、「タッチしてください」といったようなメッセージがなされている。

【0050】項目設定部52にタッチすると、情報入力項目欄51への情報入力設定動作が開始されるのであるが、情報入力設定の対象となる情報入力項目欄51は常

に項目設定部52の真上に位置する情報入力項目欄51とする。従って、各情報入力項目欄51は、図示のように、情報入力設定される順序で配列されるが、最初に情報入力設定されるべき情報入力項目欄51が項目設定部52の真上に位置付けられている。図20では、「乗車駅」入力項目欄51aが項目設定部52の真上に位置付けられている。

【0051】そこで、項目設定部52がタッチされて情報入力項目欄51への情報入力設定動作が開始すると、図21に示すように、項目設定部52の真上にある「乗車駅」入力項目欄51aが点滅表示されて情報の入力操作がなされる状態にあることが明示され、これとともに、先の実施形態と同様に、項目設定部52内に、この入力項目欄51a内に入力設定できる初期情報（ここでは、先の具体例と同様、A駅とする）が、「乗車駅はA駅でよろしいですか？」というような形式で表示され、また、「変更」ボタン53aと「確認」ボタン53bも表示される。他の駅を希望する場合には、「変更」ボタン53aをタッチ操作すればよく、先の具体例と同様に、駅名を変更させることができる。

【0052】図21に示す表示状態で「確認」ボタン53bをタッチ操作すると、「乗車駅」入力項目欄51aでA駅の入力設定が行なわれ、これとともに、情報入力項目欄51の配列が矢印A方向（時計回り方向）に自動的に回転し、図22に示すように、次の「降車駅」入力項目欄51bが項目設定部52に真上に位置付けられる。この状態で、「降車駅」入力項目欄51bが点滅表示されて情報の入力操作がなされる状態にあることが明示され、項目設定部52には、この「降車駅」入力項目欄51bに対する初期情報と「変更」ボタン53a、「確認」ボタン53bとが表示されるようになる。また、入力設定された「乗車駅」入力項目欄51aでは、設定された情報「A駅」が表示されるとともに、全体が、例えば、高輝度表示されて情報入力設定後の情報入力項目欄（これは、先の実施形態での確認項目欄37に相当する）であることが明示される。

【0053】以下同様にして、「降車駅」入力項目欄51b、「人数」入力項目欄51c、「日付」入力項目欄51d、「乗車券」入力項目欄51e、「指定券」入力項目欄51f、「列車」入力項目欄51g、「禁煙／普通」入力項目欄51hの順で情報入力設定が行なわれる。

【0054】なお、この具体例においても、先の図17～図19で示した具体例と同様に、「乗車駅」入力項目欄51aや「降車駅」入力項目欄51b、「列車」入力項目欄51gについて情報の入力設定の際、「変更」ボタン53aをタッチ操作した場合には、そのための情報の選択画面が、項目設定画面52に代えて、表示画面21全体またはその一部に表示され、これによって希望する情報が選択できるようにしている。

【0055】このようにして、この具体例も、図17～図19で示した先の具体例と同様の効果が得られる。

【0056】次に、図23、図24により、項目設定画面のさらに他の実施形態について説明する。

【0057】図示しない初期画面の表示の後、表示画面21に図23に示す項目設定画面56が表示される。この項目設定画面56は、項目設定部58とこれから一列に配列された情報入力項目57とからなっている。かかる配列から分岐する情報入力項目欄51'の配列もある。かかる情報入力項目57の列が、先の図20などで示す情報入力項目欄51の配列に相当するものであるが、なお、この具体例では、項目設定欄58や情報入力項目欄57、57'は長方形もしくは正四角形の枠で表示されており、このこと以外は先の図20などで示す項目設定部52や情報入力項目欄51と同様の機能を有している。

【0058】図23においては、各情報入力項目欄57a、57b、57b'、57c、……には夫々、予め決められた初期情報に設定されている。但し、情報入力項目欄57aは初期画面とする。

【0059】そこで、いま、項目設定部58をタッチすると、図24に示すように、項目設定部58に直接接続されていた情報入力項目欄57aが項目設定部58内に移動し、この項目設定部58内で、「変更」ボタン59a、「確認」ボタン59bとともに、この情報入力項目欄57aの初期画面が表示される状態となる。これとともに、図23で示したように、情報入力項目欄57aから情報入力項目欄57bで始まる列と情報入力項目欄57b'で始まる列とが分岐しているため、項目設定部58に情報入力項目欄57bと情報入力項目欄57b'とが直接接続された状態となり、これらのいずれかを「変更」ボタン59aで選択することにより、選択した情報入力項目欄で始まる列を選択することができる。但し、現在選択されている情報入力項目欄57の列は、項目設定部58の上辺の中央部から真上に延びる列とする。また、情報入力項目欄57cに続くこれまで表示されていなかった新たな情報入力項目欄57dも表示されるようになる。

【0060】ここで、情報入力欄57bに設定されている初期情報(B1)がユーザ希望の情報である場合、項目設定部58での「確認」ボタン59bをタッチすることにより、図25に示すように、情報入力項目欄57bが項目設定部58に移動し、その情報が項目設定部58内で表示されるようになる。これとともに、次の情報入力項目欄57cが項目設定部58に直接接続された状態となり、また、情報入力項目欄57dに続くこれまで表示されていなかった新たな情報入力項目欄57eも表示されるようになる。

【0061】図25に示す状態では、先の情報入力項目欄57bからの項目欄の列の分岐がなかったため、情報

入力項目欄57cのみが項目設定部58に直接接続されることになるが、このように項目設定部58に直接接続される情報入力項目欄57が1つだけの場合には、このような情報入力項目欄57cでの入力設定すべき情報は「変更」ボタン59aのタッチ操作によって変更することができる。この変更される情報は情報入力項目57c内に1つずつ表示され、希望する情報が表示されて「確認」ボタン59bをタッチ操作すると、この情報入力項目欄57cが、項目設定部58に移動することにより、情報の入力設定がなされたことになる。以下、同様にして、情報入力項目欄57d、57e、……の情報入力設定を行なうことができる。

【0062】なお、情報の入力設定された情報入力項目欄57の項目設定部58で表示される情報は、新たに他の情報入力項目欄57で情報入力設定されると、この新たな情報入力項目欄57の設定された情報の表示と切り換えられる。

【0063】一方、図24において、「変更」ボタン59aをタッチ操作することにより、情報入力項目欄57b'で始まる列を選択したものとすると、図26に示すように、この情報入力項目欄57b'で始まる列が項目設定部58の上辺の中央部から真上に延びる列となり、これまで選択されていた情報入力項目欄57bで始まる列は、項目設定部58の脇部の辺に接続された状態となる。接続が変わった後、情報入力項目欄57b'に進。そして、この情報入力項目欄57b'で始まる列についても、上記と同様にして、夫々の情報入力欄57'の情報入力設定を行なうことができる。

【0064】なお、この具体例では、図面を簡略化するために、情報入力項目欄の列の分岐を1つとしたが、複数個としてもよい。この場合、選択されない列は小さく表示したり、「変更」ボタン59aを操作する毎に新たな列が表示されるようにしてもよい。

【0065】また、この具体例が、先の具体例のように、列車チケットの発券に関するものである場合には、情報入力項目欄57b、57b'、……は夫々鉄道の路線が1つずつ設定したものとし、「変更」ボタン59aをタッチ操作することにより、そのうちの希望するものを選択できるものである。

【0066】以上のように、この具体例においても、先の具体例と同様の効果が得られるものである。

【0067】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、チケット発券のための情報の入力設定のための情報入力項目欄が表示画面上の同じエリアにまとめられて、かつ入力設定順に表示され、その順に情報の入力設定がなされると、情報の入力設定された情報入力項目欄は、確認項目欄として、入力された情報とともに、この表示画面上の別のエリアにまとめて、かつその入力設定順に表示されるものであるから、情報の入力が未設定の情報入力

項目欄と情報の入力設定された確認項目欄と区別、従って、チケット発券に必要ななどの項目が設定されて、どの項目がまだ設定されていないか簡単かつ明確に判別することが可能となり、操作に間違いが生ずることがなくなる。

【0068】しかも、情報の入力設定が行なわれない情報入力項目欄がまとめられた未確定エリアと情報の入力設定が行なわれた確認項目欄がまとめられた確定エリアとの間に操作エリアが設けられ、この操作エリアでは、これから情報の入力設定を行なう情報入力項目欄に入力設定する情報が1つだけが表示されるものであるから、ユーザとしては、その表示情報が希望のものであるか否か判別し、希望のものであれば、単に所定の操作ボタンをタッチ操作するだけでよいし、情報の選択ということを省くこともでき、また、希望のものでなければ、他の所定の操作ボタンを操作することにより、1つ1つ表示情報を変更できて、情報の選択を間違いなく行なうことができるようになり、操作が非常にやり易いものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による発券管理方法及び装置の一実施形態を示すブロック図である。

【図2】図1における発券端末装置の一具体例を示す外観斜視図である。

【図3】図2に示した具体例での表示画面に表示される路線選択画面の一具体例を示す図である。

【図4】図3で示した路線選択画面で路線を選択した後に図2における表示画面に表示される項目設定画面の一具体例を示す図である。

【図5】図4に示した項目設定画面で「乗車駅」入力項目欄の情報入力設定を行なったときの状態を示す図である。

【図6】図5に示した項目設定画面で「降車駅」入力項目欄の情報入力設定を行なうときの状態を示す図である。

【図7】図6に示した項目設定画面で「降車駅」入力項目欄の情報入力設定を行なったときの状態を示す図である。

【図8】図7に示した項目設定画面で「人数」入力項目欄の情報入力設定を行なったときの状態を示す図である。

【図9】図8に示した項目設定画面で「日付」入力項目欄の情報入力設定を行なったときの状態を示す図である。

【図10】図9に示した項目設定画面で「乗車券」入力項目欄の情報入力設定を行なったときの状態を示す図である。

【図11】図10に示した項目設定画面で「指定」入力項目欄の情報入力設定を行なったときの状態を示す図である。

【図12】図11に示した項目設定画面で「列車」入力項目欄の情報入力設定に際し、列車を探索するための列車選択画面の一具体例を示す図である。

【図13】図12に示した項目設定画面で「列車」入力項目欄の情報入力設定を行なったときの状態を示す図である。

【図14】図13に示した項目設定画面で「普通／禁煙」入力項目欄の情報入力設定を行なったときの状態を示す図である。

【図15】図14に示した項目設定画面で「確認」ボタンを操作して表示される案内画面の一具体例を示す図である。

【図16】図15に示した案内画面での案内に従って料金を支払ったときに表示される他の案内画面の一具体例を示す図である。

【図17】図3で示した路線選択画面で路線を選択した後に図2における表示画面に表示される項目設定画面の他の具体例を示す図である。

【図18】図17に示した項目設定画面で「乗車駅」入力項目欄の情報入力設定へ移行した状態を示す図である。

【図19】図18に示した項目設定画面で「降車駅」入力項目欄の情報入力設定へ移行した状態を示す図である。

【図20】図3で示した路線選択画面で路線を選択した後に図2における表示画面に表示される項目設定画面のさらに他の具体例を示す図である。

【図21】図20に示した項目設定画面で「乗車駅」入力項目欄の情報入力設定へ移行した状態を示す図である。

【図22】図21に示した項目設定画面で「降車駅」入力項目欄の情報入力設定へ移行した状態を示す図である。

【図23】図2における表示画面に表示される項目設定画面のさらに他の具体例を示す図である。

【図24】図23に示した項目設定画面で項目設定部をタッチ操作して得られる表示状態を示す図である。

【図25】図24に示した項目設定画面で「確認」ボタンをタッチ操作して得られる表示状態を示す図である。

【図26】図24に示した項目設定画面で「変更」ボタンをタッチ操作して得られる表示状態を示す図である。

【符号の説明】

- 1～3 エキスパート専用の発券端末装置
- 4, 5 一般顧客用の発券端末装置
- 16 ホストコンピュータ
- 21 表示画面
- 28 経路選択画面
- 30 項目設定画面
- 31 操作エリア
- 32 未確定エリア

【図3】

図3

ご利用の路線を選んでください

English

A路線

B路線

C路線

D路線

E路線

F路線

G路線

21

27

28

【図4】

図4

乗車駅 降車駅 人数 日付 乗車券 指定券 列車名 禁煙/普通

乗車駅がよろしければ、確認を押してください

A駅

中止 戻る 変更 確認

34a 34b 34c 34d 34e 34f 34g 34h

35a 35b 35c 35d

21

30

31

32

33

【図5】

図5

	34b 降車駅	34c 人数	34d 日付	34e 乗車券	34f 指定券	34g 列車名	34h 禁煙/ 普通
31 降車駅がよろしければ、確認を押してください							
37a B 駅							
37a 乗車駅 A 駅	38						
35a × 中止	35b △ 戻る					35c — 変更	35d ○ 確認

【図6】

図6

	34b 降車駅	34c 人数	34d 日付	34e 乗車券	34f 指定券	34g 列車名	34h 禁煙/ 普通
38 降車駅を選んでください							
37a A 駅 B 駅 C 駅 D 駅 E 駅 F 駅 G 駅 H 駅 I 駅 J 駅 K 駅 L 駅 M 駅 N 駅 O 駅 P 駅 その他の駅							
37a 乗車駅 A 駅	38						
35a × 中止	35b △ 戻る					35c ○ 確認	

【図7】

	人数	日付	乗車券	指定券	列車名	禁煙/ 普通
<p>人数がよろしければ、確認を押してください</p> <p>大人1名</p>						
乗車駅 A駅	降車駅 M駅					
×	△					
中止	戻る	— 変更			○ 確認	

【図8】

	日付	乗車券	指定券	列車名	禁煙/ 普通
<p>日付がよろしければ、確認を押してください</p> <p>本日 (10/12)</p>					
乗車駅 A駅	降車駅 M駅	人数 大人1名			
×	△				
中止	戻る	— 変更		○ 確認	

【図9】

図 9

				34e 乗車券	34f 指定券	34g 列車名	34h 禁煙/ 普通	32
乗車券を購入されるときは確認を、 不要なときは変更を押してください								31
乗車券を購入する								
37a 乗車駅 A駅	37b 降車駅 M駅	37c 人数 大人1名	37d 日付 本日					35c 35d 36
× 中止	△ 戻る	35a 35b			— 変更	○ 確認	33	

【図10】

図 10

				34f 指定券	34g 列車名	34h 禁煙/ 普通	32
指定券を購入されるときは確認を、 不要なときは変更を押してください							31
指定券を購入する							
37a 乗車駅 A駅	37b 降車駅 M駅	37c 人数 大人1名	37d 日付 本日	37e 乗車券 購入			35c 35d 36
× 中止	△ 戻る	35a 35b			— 変更	○ 確認	33

【図11】

列車をさがします
今すぐ乗車される場合は確認を、
指定時刻に乗車される場合は、変更を押してください

乗車駅 A駅	降車駅 M駅	人数 大人1名	日付 本日	乗車券 購入	指定券 購入		
×	△					—	○
中止	戻る					変更	確認

【図12】

ご利用の列車を選んでください

A列車	17:52 → 21:08	○	○	○	○
B列車	18:07 → 22:05	×	○	○	○
C列車	18:52 → 22:10	○	○	○	○

乗車駅 A駅	降車駅 M駅	人数 大人1名	日付 本日	乗車券 購入	指定券 購入		
×	△					—	○
中止	戻る					変更	確認

【図13】

図 1 3

							34h 普通/ 禁煙
この列車は、普通車、禁煙席でよろしいですか よろしければ確認を押してください							
A列車 17:52 → 21:08							
37a 乗車駅 A駅	37b 降車駅 M駅	37c 人数 大人1名	37d 日付 本日	37e 乗車券 購入	37f 指定券 購入	37g 列車名 A列車	
× 中止	△ 戻る	35a 35b	35d 35c			— 変更	○ 確認

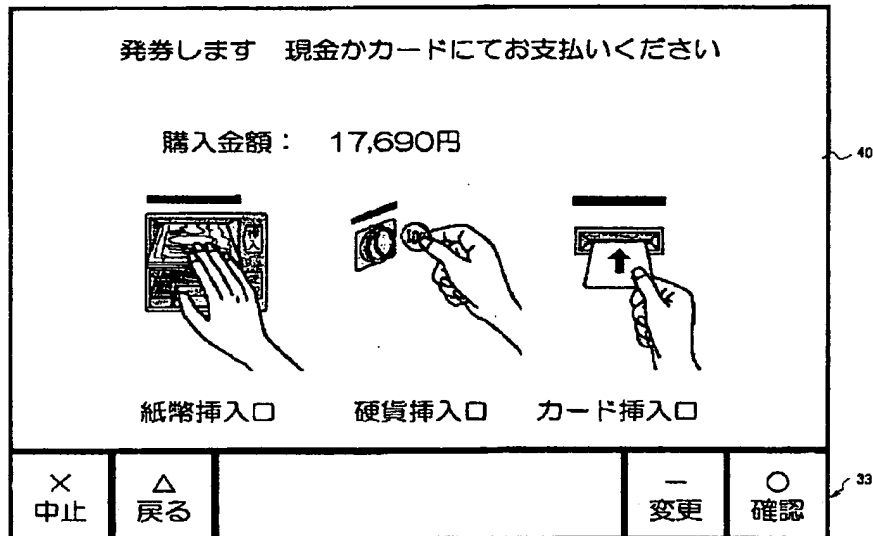
【図14】

図 1 4

列車を予約します							
37a 乗車駅 A駅	37b 降車駅 M駅	37c 人数 大人1名	37d 日付 本日	37e 乗車券 購入	37f 指定券 購入	37g 列車名 A列車	37h 普通/ 禁煙
× 中止	△ 戻る	35a 35b	35d 35c			— 変更	○ 確認

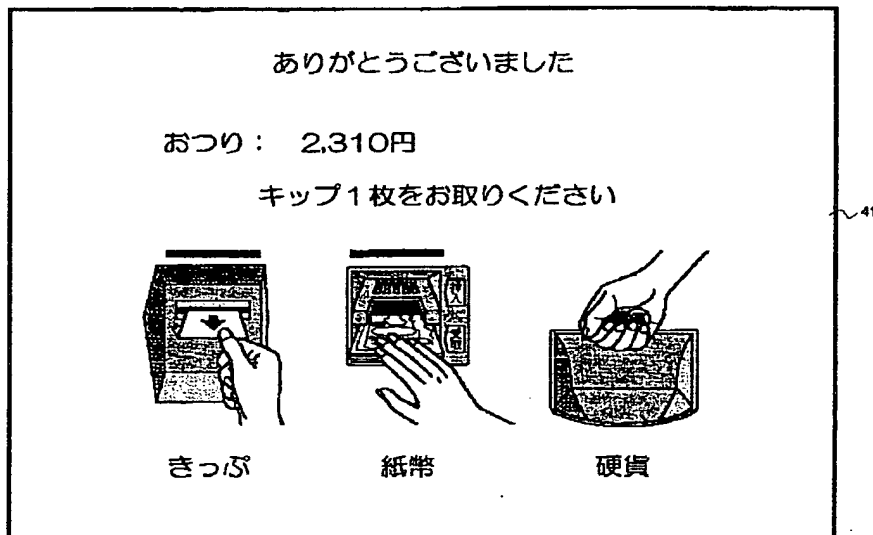
【図15】

図15



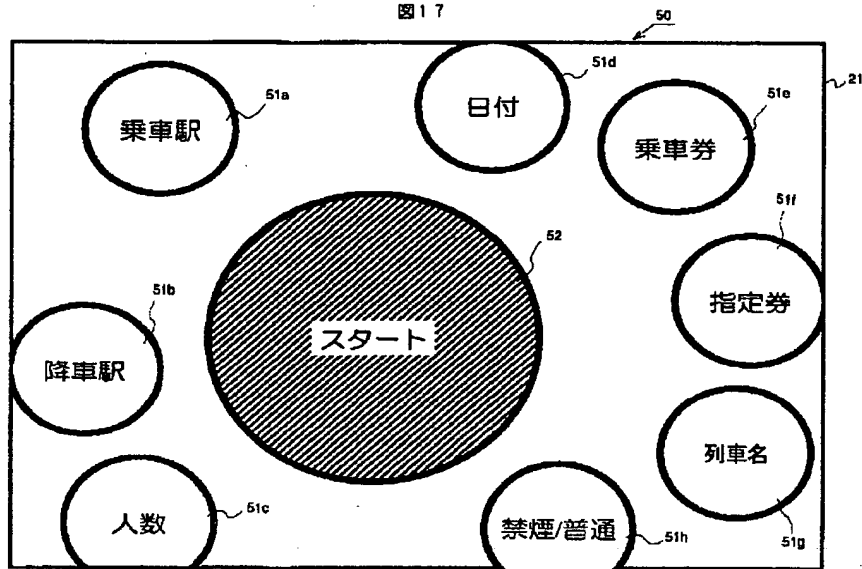
【図16】

図16



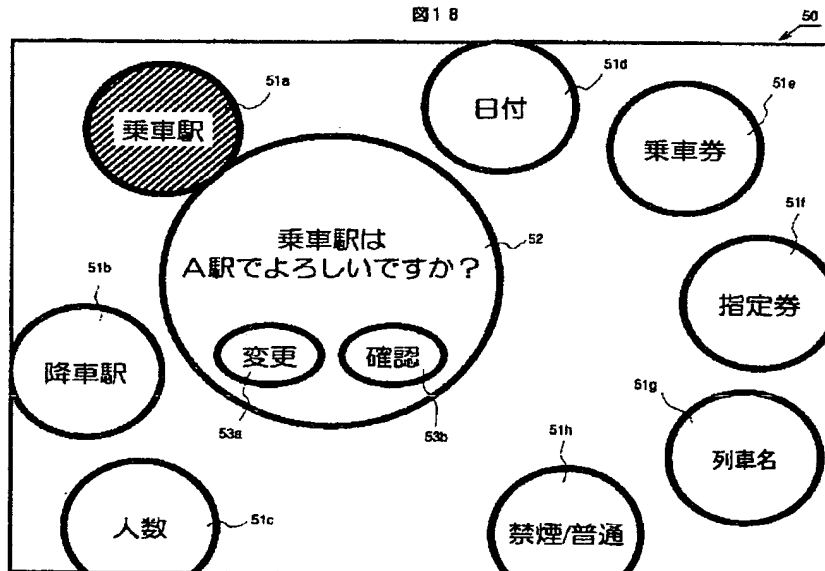
【図17】

図 17

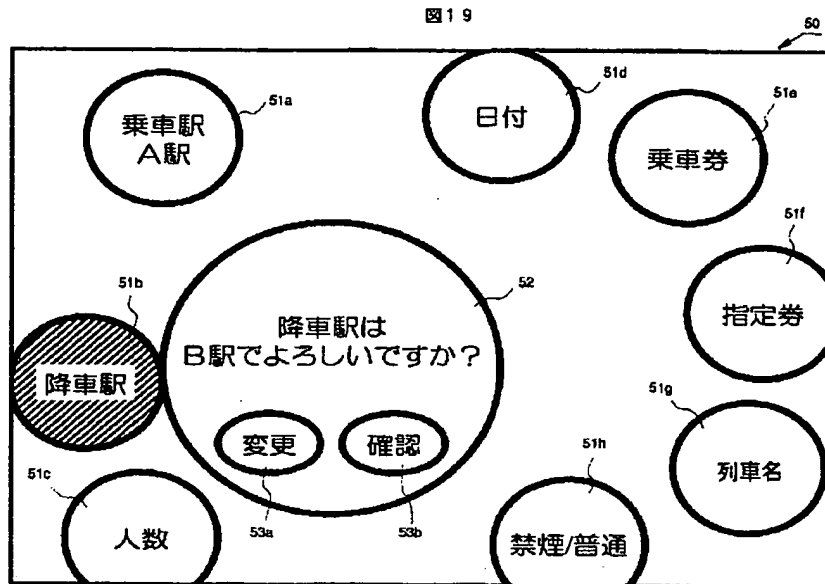


【図18】

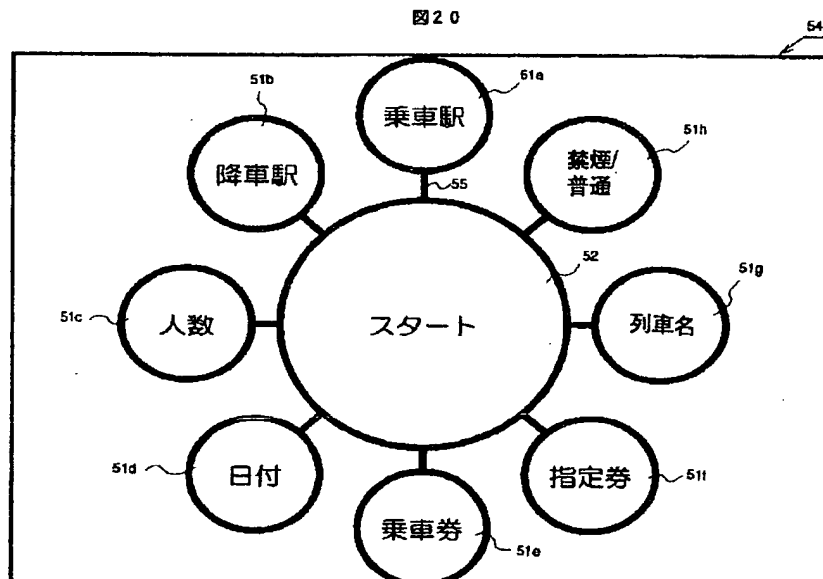
図 18



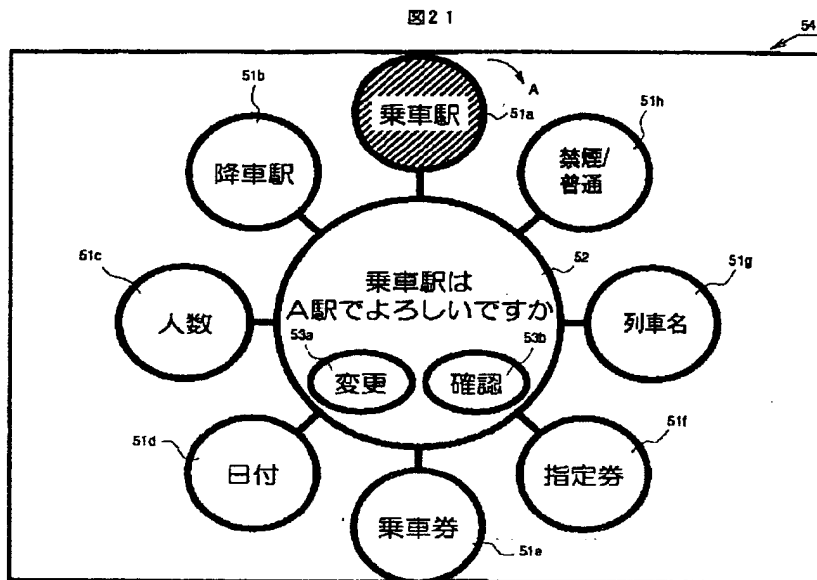
【図19】



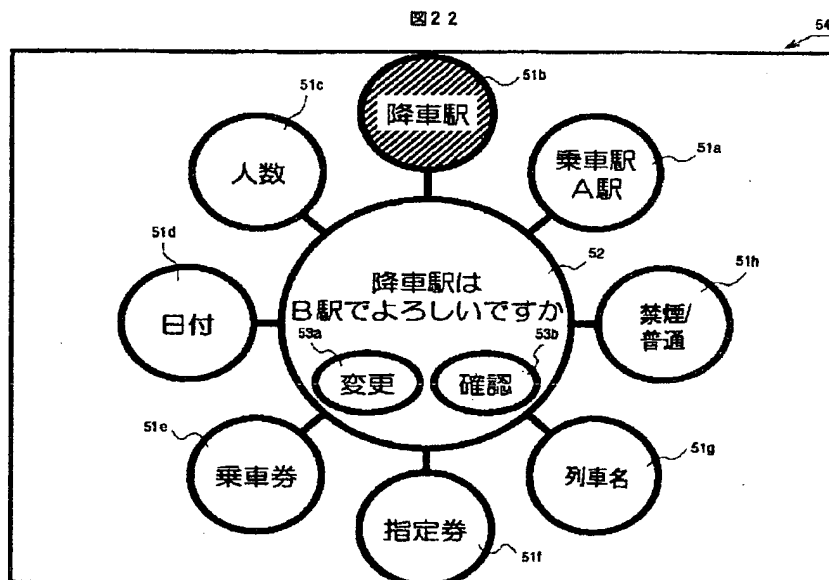
【図20】



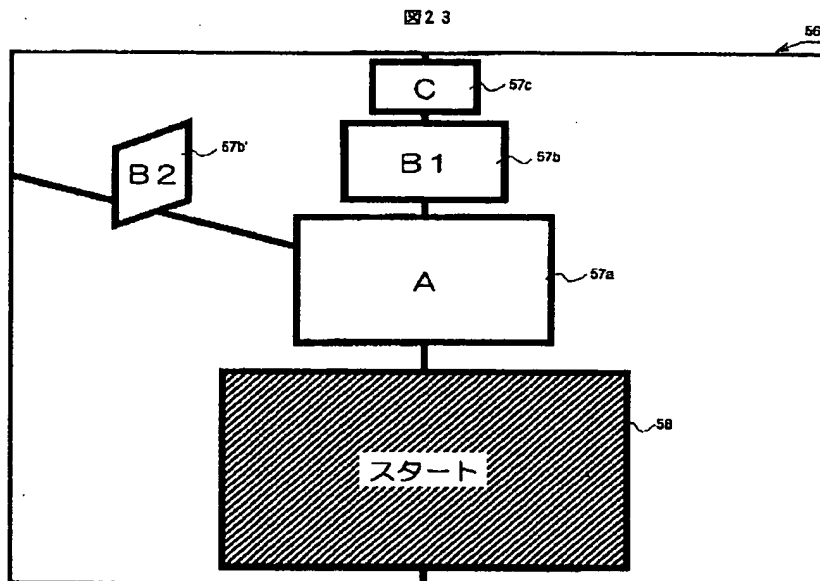
【図21】



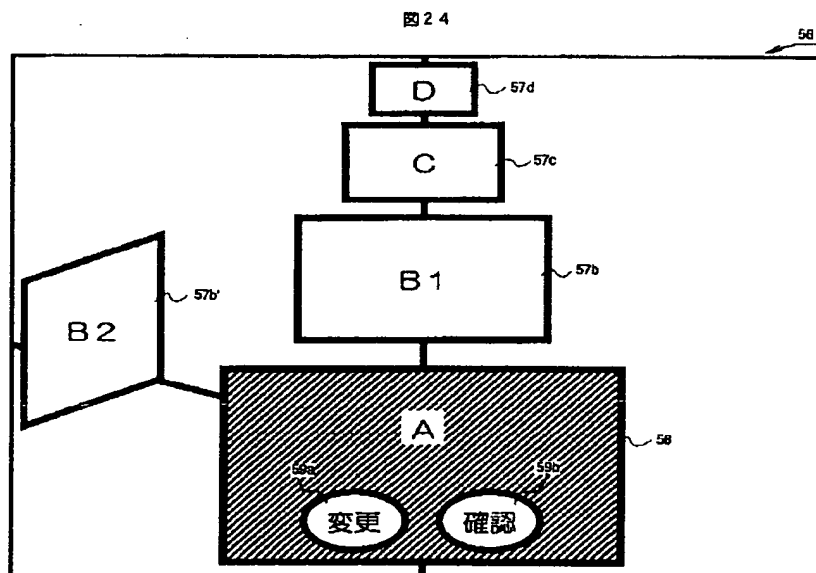
【図22】



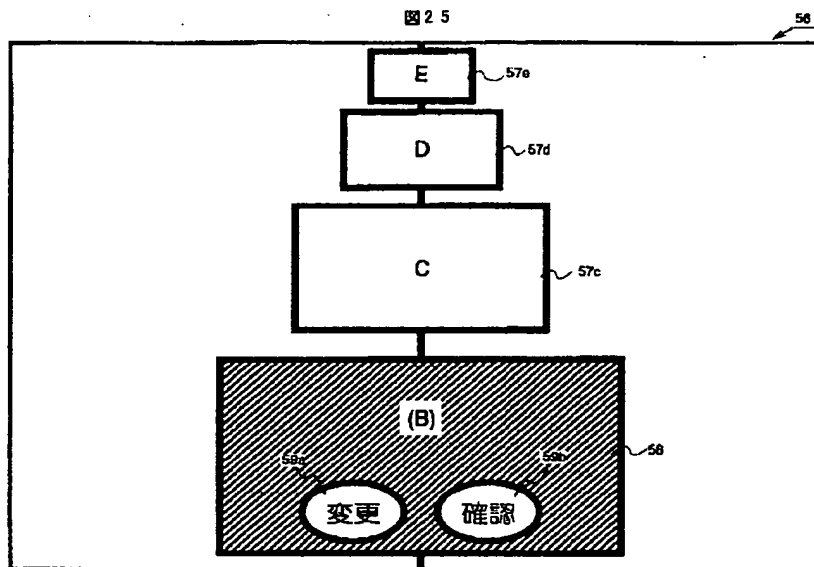
【図23】



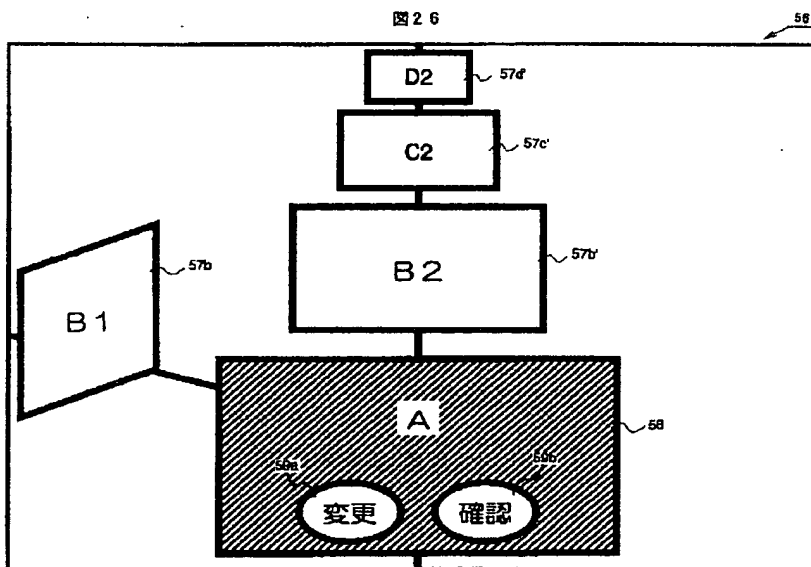
【図24】



【図25】



【図26】



フロントページの続き

(51)Int. Cl. ⁷	識別記号	FI	キーワード(参考)
G 0 6 F 3/033	3 6 0	G 0 6 F 3/00	6 5 1 A
G 0 7 B 5/00		3/023	3 1 0 L
// G 0 6 F 3/00	6 5 1		

Fターム(参考) 3E026 AA03 AA05 CA01 CA07
5B020 BB02 DD04 FF53 GG05
5B087 AB04 AB12 DE02 DE03
5E501 AA13 BA03 BA05 CB05 EA05
EA10 EA15 FA03 FA08